

平成24年6月13日経営協議会議事要旨

本部棟大会議室

午後4時00分～5時10分

議長 清水理事
岩田, 岡村, 岸, 桐野, 工藤, 郷, 斎藤, 牧野
佐藤, 前田, 武藤, 江川, 磯田, 山口, 長谷川, 家各委員
本部 石井副学長, 榊田監事
尾越, 鈴木, 苫米地, 中塚, 平井各副理事
清水本部長
富田, 根岸, 荒木各部長, 吉田部長事務代理, 田畑副部長
糸井, 羽賀, 與三野, 山崎, 遠藤各課長

議事に先立ち、清水理事から、急遽、総長が本会議に出席できない状況となったため、議長の職務を代行する旨説明があった。

平成24年4月18日経営協議会議事要旨（案）は、確認の上、原案どおり了承された。

1 学内行事等（資料2）

清水理事から、前回経営協議会以降の学内行事等について、資料2のとおり報告があった。

2 平成23年度評価に係る実績報告書（案）（資料3）

佐藤理事から、平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について、資料3のとおり説明があった。

次いで、清水理事から本件について諮り、審議の結果原案どおり了承され、教育研究評議会及び役員会に付議することとした。

3 平成23事業年度決算（資料4）

前田理事から、平成23事業年度決算による収支状況について、資料4のとおり説明があった。

次いで、清水理事から本件について諮り、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

4 本学の役員及び教職員の給与減額措置（案）（資料5）

磯田理事から、国の動きを踏まえた本学における給与減額対応案について、資料5のとおり説明があった。

次いで、清水理事から本件について諮り、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

5 平成24年度夏季における期末・勤勉手当等（資料6）

磯田理事から、平成24年度夏季における期末・勤勉手当等について、資料6のとおり説明があった。

次いで、清水理事から本件について諮り、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

6 行動シナリオの改訂（資料7）

佐藤理事から、行動シナリオの改訂について、資料7のとおり報告があった。

- 7 入学時期等の教育基本問題に関する検討状況（資料8）
清水理事から、入学時期等の教育基本問題に関する検討状況について、資料8のとおり報告があった。
- 8 体験活動の推進に関する報告（資料9）
武藤理事から、体験活動の推進に関するワーキンググループの設置について、資料9のとおり報告があった。
- 9 平成25年度概算要求事項（資料10）
前田理事から、平成25年度概算要求事項について、資料10のとおり報告があった。
- 10 平成25年度施設整備概算要求事項（資料11）
前田理事から、平成25年度施設整備概算要求事項について、資料11のとおり報告があった。
- 11 寄附金及び寄附物品等の受納（資料12）
前田理事から、平成23年度2月、3月分の寄附金及び寄附物品等の受納について、資料12のとおり報告があった。
- 12 寄付講座等の設置等（資料13）
前田理事から、寄付講座の設置1件及び寄付金額変更2件、並びに寄付研究部門の設置1件及び寄付金額変更1件について、資料13のとおり報告があった。
- 13 社会連携講座等の設置等（資料14）
前田理事から、社会連携講座の設置1件について、資料14のとおり報告があった。
- 14 東日本大震災に関する救援・復興支援活動（資料15）
前田理事から、東日本大震災に関する東京大学の救援・復興支援活動について、資料15のとおり報告があった。
- 15 その他

以上

経営協議会学外委員からの提言への対応
(平成24年3月～平成24年6月分)

テーマ	開催日	提案・御意見等
東京大学基本組織規則の一部改正	24.3.15	○事務の顔が見えるような改善。
入学時期の検討		○大学はそれぞれ、様々な制度的制約の中で動いているが、入試問題、資産運用など、いくつかのものについて再検討をする必要が出てくるのではないかと。 ○ギャップタームについてアイデアを集めてはどうか。
教育改革の推進	24.4.18	○大学院重点化にかかる学部入学定員減の議論。
産学連携		○学内で新しいアイデアが出たときに学内専門家を部局横断的に活用する仕組の確立。 ○東京大学の産学連携を産業界に発信。 ○ナショナルベースの大規模な技術開発について東大としての対応を検討。 ○人事に関する新しい仕組みの構築。
東大の給与特例措置	24.6.13	○国際化で人を集められるような工夫が必要。
入学時期等の教育基本問題検討		○資格試験について、医師免許等卒業に関わる国家試験と、そうでない試験があるので、整理して準備が必要。
教養教育と進学振分けのあり方		○点数だけでなく学生が行きたい学科に行けるような工夫が必要。 ○グローバルリーダーとして活躍できる人材を育てる教養教育であってほしい。 ○人格形成への広がり期待している。